



# わたぐもこどもセンターだより 10月号



## 1 歳児クラス交流会「小麦粉粘土であそぼう」(9/20 より予約開始)

※ネット・お電話での予約はできません。

保育園の1歳児クラスのお友達と小麦粉粘土と一緒に遊びましょう。

1歳児の成長やあそびの目安を見ることができます。

日時：令和5年10月5日(木)10時～11時

定員：1歳半～(椅子に座れるお子さん)6組

場所：わたぐも保育園うさぎ組



保護者の方が一緒に遊びます。親子共にアレルギーのないことをご確認の上、お申込みください。

(小麦粉、塩、食紅、サラダ油を使用します)

## 育児講座「わらべうたあそび」(9/20 より予約開始)

※ネット・お電話での予約はできません。

わらべうたあそび講師の島田先生をお迎えして、親子でふれあいながら楽しい時間を過ごしましょう。

日時：令和5年10月19日(木)

① 1歳児 10:00～10:40 ② 0歳児 11:00～11:40

場所：わたぐもこどもセンター

定員：①② 共に5組

講師：島田 朋子 先生

保育士・子育て支援コーディネーター・地域子育て支援士

市川市内で未就園児親子対象「親子わらべうた市川まめっちょ」主催

幼児、小学生のための「市川わらべうたの会」主催



持ち物：水分補給できるもの(水またはお茶)

## 子育てコラム 食事編

〈手づかみ食べは赤ちゃんの成長にとって必要なステップです。〉

食べ物にさわる、その感触や温度を感じる、食べ物がこぼれたり落ちたりするのを見る、といった一連の出来事は、赤ちゃんの好奇心や五感を刺激します。また、食べ物をつかんだり口に運んだりすることで、ものと自分との距離感を学びます。

こうして、自ら触れることで感覚機能・運動機能・認知力が身についていきます。

さらに、手指の皮膚への刺激は、赤ちゃんの脳の発育にもとても大切です。

手づかみ食べ期は、赤ちゃんに周りを汚されることに大人はイライラしてしまうシーンもあります。

テーブルの下にレジャーシートや新聞紙を敷いたり、汚れてもいい服で食事したりして、自分や赤ちゃんを責めずに過ごしてくださいね。

〈手づかみ食べから一歩進むとスプーンを使い始めます〉

じゅうぶんに手づかみ食べを経験することで、スプーンで食べ物をすくう手首の操作、食べ物を落とさず保つ手指の調整、口元まで運ぶ一連の動作につながってきます。

スプーンはしっかり握れるよう、太めの柄のものを選ぶと良いでしょう。一口量を知らせるためにもたくさんすくえてしまうスプーンは避けましょう。

上手持ち→下手持ち→3点持ちと移行し、ゆくゆくはお箸へとつながっていきます。

この過程がないと、上手にお箸が使えなくなることもあります。

(参考 子育て応援サイト MiMi STAGE・合同出版 子どもの発達にあわせて教える )